



TITLE:

《ニュース》 附属図書館が理工学
系外国雑誌センター 館に指定され
る

AUTHOR(S):

CITATION:

《ニュース》 附属図書館が理工学系外国雑誌センター 館に指定され
る. 静脩 1987, 24(1-2): 8-8

ISSUE DATE:

1987-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36981>

RIGHT:

買得田畚導掌貢物奴婢都案」「奴婢放売・典当文記、綿紬壓関係資料」と名づけられた4冊のノートがある。これらは、現在でも、閲覧はなかなか困難なもので、おそらく安氏の熱意にうごかされて、写真撮影を許されたものであろう。安氏は、これらの土地売買文書約250枚に、『朝鮮土地調査事業報告書』や和田一郎『朝鮮土地・地稅制度調査報告書』などに収録された土地売買文書約170枚を加えて研究を進められ、1910年から1918年にかけて行われた土地調査事業の前提としての土地

所有の性格を明らかにしようとしたが、惜しくも、その研究の端緒で倒れたのであった。生前にまとめられた唯一の論文「田畚典当・放売文記の研究」は、遺稿集『朝鮮社会の構造と日本帝国主義』に収められている。

この簡単な紹介を終るにあたり、私は、安秉治文庫が多くの人々によって利用され、こころざし半ばにして倒れた安氏の研究が引きつがれ、発展されることを、こころから願わずにはおられない。

《ニュース》

附属図書館が理工学系外国雑誌センター館に指定される

昭和52年度から逐次、特定の分野（理工学、医学・生物学、農学、昭和61年度から人文・社会科学）ごとに外国雑誌センター館が指定され、外国刊行学術雑誌の国内未収集誌を網羅的に収集してきました。この事業の大きな目的は、国内の研究者が必要とする文献を諸外国の専門機関に依存することなく、国内で網羅的に収集し、迅速な提供を行うことにより、研究者の活動を支援することにあります。

理工学分野では、この事業の初年度に東京工業大学附属図書館がセンター館に指定され、収集は勿論のこと、サービス面においても積極的な活動を行ってきました。

理工学分野の一段の整備充実を図るため、本年6月2日付で、文部省から本学附属図書館が理工学分野のセンター館に追加指定されました。資料の収集方針、その他センター館の活動に関することは、関係部局選出の附属図書館商議員の助言を受け文部省、東工大図書館及び他分野センター館とも密接な調整をはかりながら、進められ、62年度の購入誌として484タイトルを発注したところです。現在、鋭意63年版の購入資料の選定準備を行っています。

新しい情報検索サービスの提供開始

＜NACSIS-IR＞

学術情報センターでは、昭和62年4月から、情報検索サービス（NACSIS-IR：National Center for Science Information System-Information Retrieval Service）を開始しました。このサービスは学術情報センターの内外で作成される様々な学術情報データベースを導入し、研究者の学術研究活動、図書館における参考調査活動の支援を目的としています。本学における利用資格者は、教官、大学院学生、研究生、文部省科学研究費補助金の研究代表者及び分担者、図書館職員等、その他部局長が適当と認めた者です。また支払は校費のほか私費も認められます。接続方法にはオンライン端末機を①公衆電話回線又は第2種パケット交換網を通じて直接か、あるいは②各大学の情報処理センターや大型計算機センターを通じての二種類があります。すなわち、研究室等の端末からの直接のアクセスも可能です。学内の図書館（室）による代行検索サービス（利用者に代って図書館員が検索を行う。）も認められており、本学では現在、附属図書館（参考調査掛）と農学部（学術

データベースの種類	数	接続料	ヒット料
二次情報（COMPENDEX等）	8	50円／分	13円／件
MARC（LCMARC等の機械可読目録）	3	30円／回	0
目録所在情報	2	30円／回	0